

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉 平成18年7月 (第27～30週)

発行年月日：平成18年(2006年) 8月 10日
 発行：滋賀県衛生科学センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 18年		平成 17年		感染症 類型	疾 病 名	平成 18年		平成 17年	
		1～7月		1～12月				1～7月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	デング熱	0	26	1	73
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	14	0	62
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	7
	ペスト	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0
二類	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	2	0	2
	急性灰白髄炎	0	0	0	0		発しんチフス	0	0	0	0
	コレラ	0	31	0	54		ボツリヌス症	0	1	0	3
	細菌性赤痢	*14	229	*27	556		マラリア	0	33	0	66
	ジフテリア	0	0	0	0		野兔病	0	0	0	0
	腸チフス	0	49	0	50		ライム病	0	3	0	8
三類	パラチフス	0	15	0	18		レジオネラ症	6	249	3	276
腸管出血性大腸菌感染症	18	1,494	12	3,567	レプトスピラ症		0	1	0	15	
四類	E型肝炎	0	41	0	40	五類	アメーバ赤痢	6	418	5	680
	ウエストナイル熱	0	0	0	1		ウイルス性肝炎	0	141	2	277
	A型肝炎	2	231	1	168		急性脳炎	1	100	2	180
	エキノコックス症	0	15	0	18		クリプトスポリジウム症	0	8	0	9
	黄熱	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	91	2	147
	オウム病	0	15	1	34		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	76	0	60
	回帰熱	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	7	702	7	1161
	Q熱	0	1	0	8		ジアルジア症	1	53	0	81
	狂犬病	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	9	0	10
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	0	0	2
	コクシジオイデス症	0	1	0	5		梅毒	3	353	0	555
	サル痘	0	0	0	0		破傷風	0	55	0	114
	腎症候性出血熱	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	44	2	65
つつが虫病	0	171	0	325							

滋賀県における全数報告 感染症の概要(7月)

< 細菌性赤痢 >

女性・28歳、女性・29歳

海外旅行帰国後に発症し、赤痢菌(ソネ型)が分離されました。推定される感染地域は中華人民共和国です。

< 腸管出血性大腸菌感染症 >

散発事例：5名(患者4名、無症状病原体保有者1名)

性別 男性1名、女性4名

血清型 全員 O157

毒素型 VT1(+)・VT2(+) 3名

VT2(+) 2名

年齢 1歳、3歳、4歳、25歳、

27歳それぞれ1名ずつ

< A型肝炎 >

女性・63歳

推定される感染経路は経口感染、推定される感染地域は日本国内です。

< レジオネラ症 > 男性・56歳

推定される感染原因・感染経路は不明、推定される感染地域は日本国内です。

< アメーバ赤痢 >

男性・56歳

推定される感染経路は経口感染、推定される感染地域は日本国内です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む、

*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点に分かれています。

7月の概要

<インフルエンザ定点>

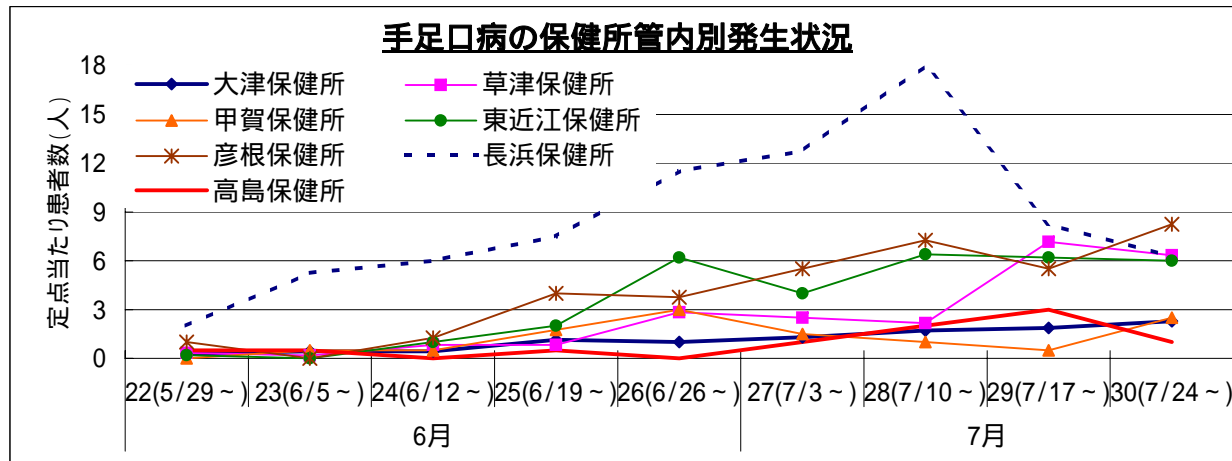
7月(第27~30週)の定点当たり患者数は0~0.08で推移し、昨年同時期とほぼ同様の発生状況を示していました。

<小児科定点疾患>

咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、風しん、ヘルパンギーナおよび流行性耳下腺炎は先月より減少していました。咽頭結膜熱については、昨年同時期の定点当たり患者数より非常に多くなっていました。また、手足口病および伝染性紅斑は先月より増加し、特に長浜保健所管内の定点当たり患者数は非常に多くなっていました。その他の疾患については、先月と比較して大きな変化はみられませんでした。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月よりやや減少していました。基幹定点疾患である無菌性髄膜炎は先月より増加し、長浜保健所管内からの報告が多くなっていました。



7月の長浜保健所管内における手足口病の発生は、6月に引き続き増加傾向を示し、第28週の定点当たり患者数は18.00と非常に多くなりました。他の保健所管内においても前月より増加傾向を示しました。

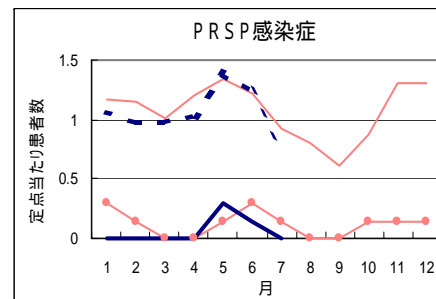
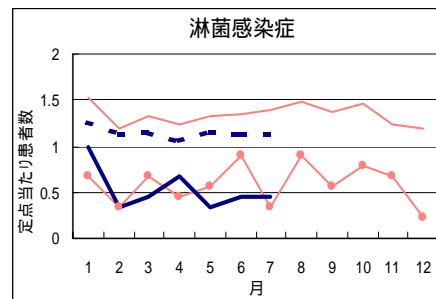
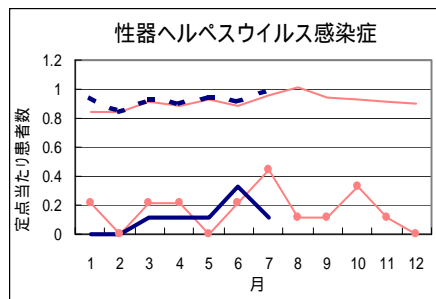
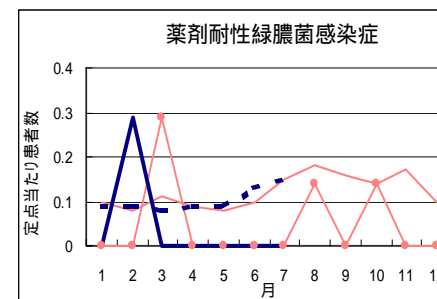
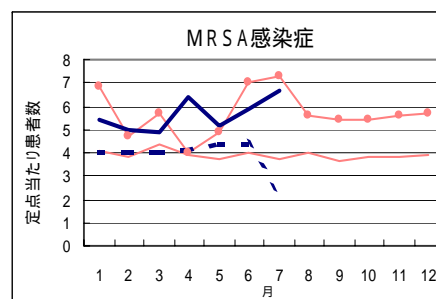
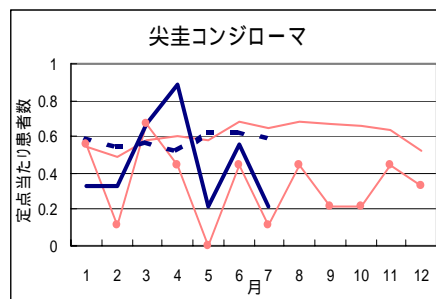
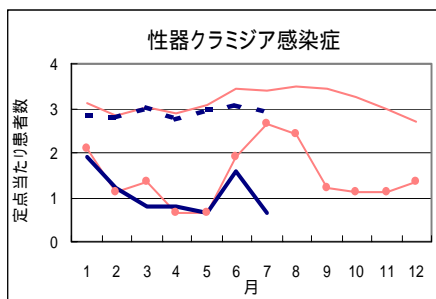
また、6月に採取した手足口病患者の咽頭ぬぐい液からコクサッキーウイルスA16型、エンテロウイルス71型が分離されました。

<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成18年7月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	17	11	7	7	6	14	6						68
	定点当たり	1.89	1.22	0.78	0.78	0.67	1.56	0.67						1.08
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	0	0	1	1	1	3	1						7
	定点当たり	0	0	0.11	0.11	0.11	0.33	0.11						0.11
尖圭コンジローマ	罹患数	3	3	6	8	2	5	2						29
	定点当たり	0.33	0.33	0.67	0.89	0.22	0.56	0.22						0.46
淋菌感染症	罹患数	9	3	4	6	3	4	4						33
	定点当たり	1	0.33	0.44	0.67	0.33	0.44	0.44						0.52
MRSA感染症	罹患数	38	35	34	45	36	41	47						276
	定点当たり	5.43	5.00	4.86	6.43	5.14	5.86	6.71						5.63
PRSP感染症	罹患数	0	0	0	0	2	1	0						3
	定点当たり	0	0	0	0	0.29	0.14	0						0.06
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	2	0	0	0	0	0						2
	定点当たり	0	2.00	0	0	0	0	0						0.29

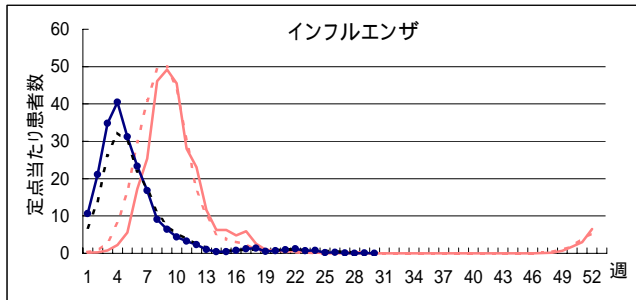


戻る

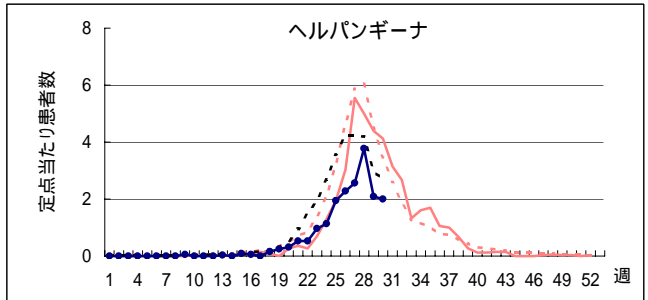
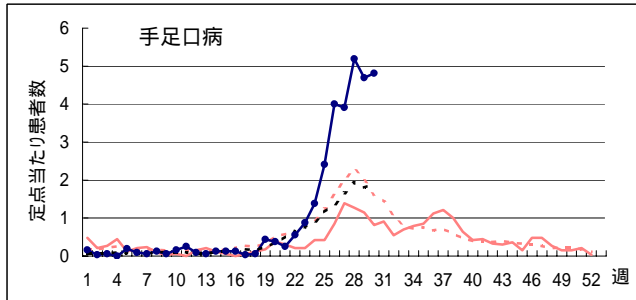
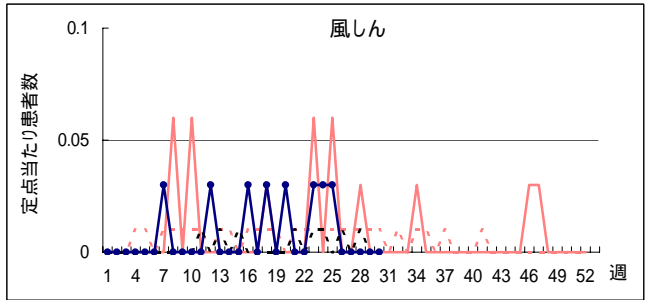
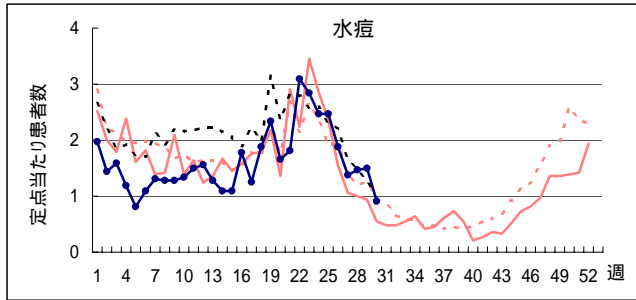
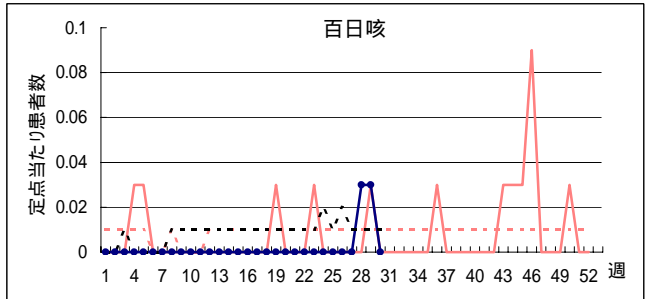
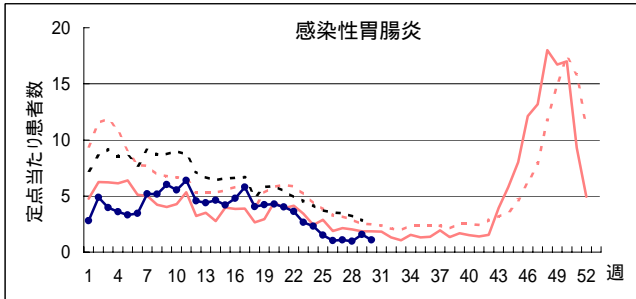
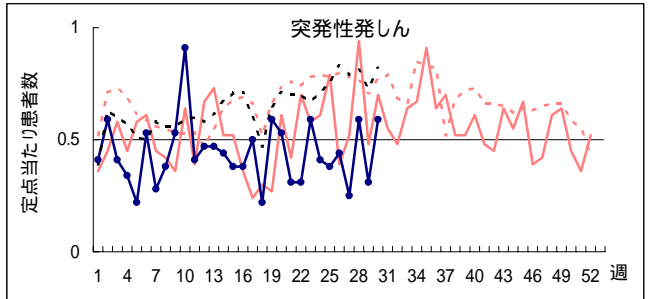
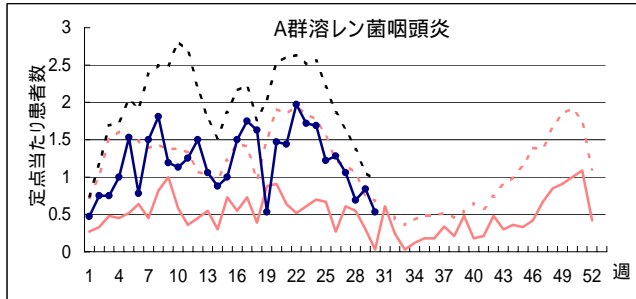
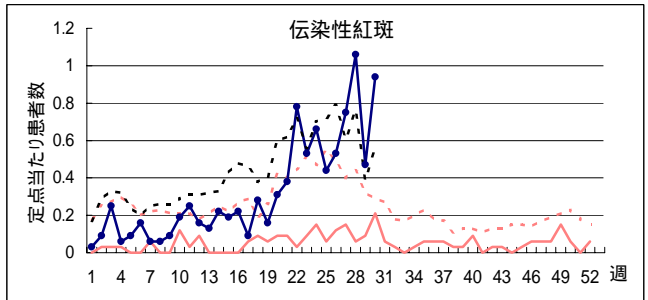
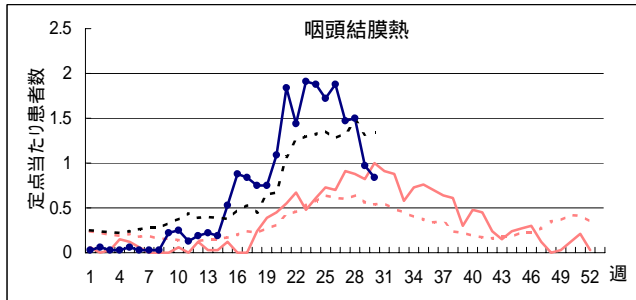
H17 { 滋賀 ●●●●●
 全国 ————
 H18 { 滋賀 ————
 全国 ●●●●●

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第30週、H18.1.2～H18.7.30)



H17 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H18 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第30週、H18.1.2～H18.7.30)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

